

2026年3月11日(水)午前 11:30 から CRT スタジオで収録

学校教科書を手にしたその日から、教科書の予習をスタートしよう

開倫塾

塾長 林明夫

Q : 「学校の教科書を手にしたその日から、教科書の予習を」とはどういうことですか。

A : 学校で学ぶ内容を理解するためには、授業の前に、予め、「学校教科書」をできるだけ先の方まで、勉強しておいた方がよい。できれば、GWが終わるところまでに、1年分の「学校教科書」を、わからないながらも、一通り、勉強しておいた方がよいからです。

Q : では、具体的に、どのように「予習」をしたらよいか、教科別にお話ください。まずは、「英語の教科書の予習の仕方」をお話ください。

A : (1) 「英語」は、教科書を1課ずつ予習する。1課の第1章の第1段落の「英文」を、まずは、声を出して読んでみる。次に、今度は、ゆっくり読んでみて、意味がわからない、発音の仕方がわからない語句があったら、「気持ちが悪い」と考え、「辞書」を用いて調べる。「辞書」でその語句を調べるまで、その英単語を発音し続ける。

(2) 「辞書」で調べた内容は、「英語教科書意味調べノート」に書き写す。その語句の「関連語句 (word family)」も、できるだけ書き写す。

(3) 書き写した方がよい内容は、①「語句」②「発音記号」③「意味」の3つ。

(4) 辞書で調べたら、その「語句」「発音記号」「意味」の3つを、必ず、「英語教科書意味調べノート」に書き写す。書き写し終わったら、意味を覚えながら、発音練習、書き取り練習を繰り返す。

(5) 「意味を覚え」「正確に発音できるようにし、正確に書けるようになるまで、一語一語、練習を繰り返す」。

(6) 第1課、第1章、第1段階を、ゆっくり声を出し読んでいて、意味や発音がわからない「語句」は、一語残らず、全部、「辞書」を用いて調べる。

(7) 第1段落の語句を、辞書を用いて調べ終わったら、第1段落の全文を、「スラスラよく読めるようになるまで」、声を出して、「発音練習」する。

(8) 第1課第1章第1段落が終わったら、第2段落を予習。このようにして、第1課を予習。第2課を「予習」する前に、第1課の全文を、ゆっくり「発音練習」してから、「第2課」の「予習」に入る。第3課の「予習」の前には、「第1課」「第2課」の全文を、ゆっくり「発音練習」。第4課の「予習」の前には、「第1課」「第2課」「第3課」の全文を、ゆっくり「発音練習」。最後の課の「予習」の前には、「それまでの課」の全文を、ゆっくり「発音練習」。

(9) 各課で新しく学ぶ文法事項は、「参考書」を用いて学ぶことをおすすめします。

Q : 「社会と理科の学校教科書」はどのように予習したらよいのですか。

A : (1) 「学校教科書まとめノート」をおすすめします。

(2) 学校教科書の「第1部」「第1章」「第1節」「第1段落」から、ていねいに「学習項目」ごとに、「教科書に出ている内容」と「その説明」「定義（ことばの意味）」を、「ノートに書き写す」。

(3) 「固有名詞（人名・地名）」や「年号」は、必ず書き写す。教科書の「脚注」も書き写す。

(4) 学校教科書に出ている語句で、意味のわからない語句は、「辞書」や「参考書」を用いてその「意味」を調べる。「調べた内容は、すべて、ノートに書き写す」。

(5) 第1章を書き写し終えたら、「ノート」の全文を、声を出して、ゆっくり読んでみる。「ノートの全文」を何も見ないでいえるようにする。正確に書けない語句があったら、「書き取り練習」を繰り返す。

(6) 第2章に入る前に、「第1章」を全文「音読練習」。第3章に入る前には、第1・第2章を、全文「音読練習」。最終章に入る前には、それまでの全部の章を「音読練習」。